退職により普通徴収へ切り替える場合の記載例

給与支払報告書・特別徴収に係る給与所得者異動届

不明点等があった場合には、こちらに連絡させていただきます。
必ず記入してください。

は、速やかに提出してください。◎用紙が足りない場合は、コピーしてご利用ください

就職等により、異動後の勤務先で引き続き特別徴収を行う場合、前勤務先の市区町村長に送付してください。新勤務先では、C欄をまた、徴収台帳への記入等必要な手続を済ませた上で、給与所得者の一月一日現在の住所（課税地）の市区町村長に送付してください。

令和〇年〇月〇日提出	（特別徴収支払義務者） 下田市長	所在地 〒415-0035 静岡県下田市東本郷一丁目〇番〇号	この届出に係る連絡先	係 経理課	特別徴収義務者番号 000300100
	フリガナ 下田 花子	フリガナ ユウゲンガイシャ マルバツショウカイ 有限会社 ○×商会	氏名 賀茂 一郎	宛名番号 001	
	代表者の職氏名 代表 静岡 太郎	代表者の職氏名 代表 静岡 太郎	電話 0558-22-2218	受給者番号 （整理番号） 012345	
給与所得者	フリガナ シモダ ハナコ	旧姓	（ア）特別徴収税額 （年税額） 120,000 円	徴収済月 6 月分	（イ）徴収済額 50,000 円
氏名 下田 花子	生年月日 令和 平成 46 年 7 月 11 日	個人番号 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2	（ウ）未徴収税額 （ア）-（イ） 70,000 円	異動年月日 令和 4 年 10 月 31 日	異動事由 1 退職 2 転勤 3 休職 4 長期欠勤 5 死亡 6 その他
1月1日現在の住所 〒415-0026 静岡県下田市六丁目△番△号	現在の住所 （給与の支払先）		徴収済月 10 月分		異動後の未徴収税額の徴収方法 1. 特別徴収継続 → (C欄記入) 2. 一括徴収 (5月分までまとめて徴収) → (B欄記入) 3. 普通徴収 (残額を個人で納付) → (B欄記入)

A欄

退職後に転出等する場合には、必ず記載してください。

給与天引きした最終月を記入してください。

●一括徴収の届

一括徴収の理由	徴収予定			一括徴収した税額は
1. 異動が12月31日以前で本人から申出有（注1） 年 月 日申出	徴収予定日	徴収予定額	徴収予定額合計 〔上記（ウ）と同額〕	月分
2. 令和4年1月1日以降に退職（注2）				納期限 月 日
一括徴収できない理由 1. 5月までに支払われる給与又は退職手当等が未徴収税額より少ない。 2. その他（ ）				と合わせて納入します

（注1）12月31日以前の退職者についても、できるだけ一括徴収をお願いします。（退職後国外へ転出する場合は、特に協力をお願いします。）
（注2）1月1日から4月30日までに退職した場合は、本人の申出がなくても一括徴収することが義務付けられています。

●転勤等による特別徴収届出書（転勤等で特別徴収の継続を希望される場合に記入してください。）

月割額 円を	給（特別徴収支払義務者）	所在地 〒	特別徴収義務者 指定番号	
月分から徴収し納入する。	フリガナ 代表者の職氏名 法人番号	フリガナ 代表者の職氏名 法人番号	係 氏名 電話	この届出に係る連絡先
給与支払方法及びその期日				
			指定番号の前連絡 納入書	要・不要 要・不要

当初お送りしている納入書を修正して使用できますが、新しいものが必要な場合は「要」に○をつけてください。

C欄